

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
957	学校一般管理事業	会計	01	一般会計	
		款	10	教育費	
31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	項	01	教育総務費	
		目	03	義務教育振興費	
		細目	101	一般管理経費	
		細々目	01	一般管理経費	
担当者氏名	教育部 学校教育課				
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	22-9676		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
小中学校教育全般		小中学校教育が円滑に推進できる。
本年事業内容	1. 学校評議員会の開催 2. 障害児就学指導委員会の開催 3. 指導主事の研修 4. 入学通知書の作成・送付 5. 各種研修会参加	
根拠法令・要綱等	学校教育法	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.35	0.5	0.5
	人件費合計(A)	2,520	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	12,702	9,396	9,396
	委託料			
	報酬	1,924	2,052	2,052
	負担金及び補助金	3,406	3,622	3,622
	その他	7,371	3,722	3,722
合計(A+B)		15,222	12,996	12,996
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		15,222	12,996	12,996
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
学校評議員会の開催	校	38	38	38			
就学指導委員会の開催回数	回	5	9	9			

情勢の変化及び事業の改善点等

開かれた学校づくりと学校教育における外部評価の実施をしていくために、学校評議員会の充実を推進していく必要があります。また、児童生徒の就学にかかわって、就学指導委員会での適切な判断が必要なため、委員会を随時開催する必要があります。したがって、今後も、学校と地域、学校と関係機関との十分な連携を築いていくことが大切です。

評価	達成度	4	市内38小中学校における教育の円滑な推進が達成できています。学校教育運営に関して、諮問機関のひとつである学校評議員の意見を受けとることによって、各学校の教育活動が地域に開かれたものとなっています。また、児童生徒の就学に関して、各専門機関の判定を含めた指導助言を得ることで、適切な就学支援ができています。今後も継続した支援を得ていく必要があります。
	効率性	4	